

コミュニケーション

場との交流 —いま・ここに生まれる何かを求めて—

パフォーマンス&ディスカッション

ダンスパフォーマンス: ボヴェ太郎 ゲストトーク: 上念省三 コーディネート・研究発表: 富田大介
音響効果: 原摩利彦

2009年12月19日[土]14:00—(無料・予約不要)

会場: 神戸大学 百年記念館

神戸大学院生が市民の方々に研究成果をお届けするプロジェクトの第三回目は、日本のコンテンポラリーダンスに焦点を当てます。即興としての振り付けをコンセプトにするダンサーのボヴェ太郎さん、自身で公演のプロデュースも行う批評家の上念省三さんとともに、パフォーマンス&ディスカッションを構想しました。無類の風景舞台を内在させた神戸大学百年記念館のエントランス空間で生まれる「いま・ここ」ダンスパフォーマンスと、踊り手の現場感覚に着目しながら参加者と対話するディスカッションを通じて、「コンテンポラリー」ダンスとはどういうことかを再考できればと思います。(富田)

ボヴェ太郎

舞踊家・振付家。
81年生まれ。02-03年渡欧。インプロヴィゼーションテクニック等を学ぶ。
"空間の(ゆらぎ)を知覚し、変容してゆく「動く」身体"をコンセプトに創作。
主な作品に『不在の痕跡』(シアターラム/2003)、『implication』(アイホール/2007)、
『余白の辺縁』(セルリアンタワー能楽堂/2007)、『Texture Regained —記憶の肌理—』
(アイホール/2008)等。舞台作品の他、『カンディンスキー展』(京都国立近代美術館)
や『ダニ・カラヴァン展』(世田谷美術館)における公演、ルイ・ヴィトンとの共同制作による
映像ダンス作品(六本木ヒルズ)、西ジャワの古典歌曲トゥンパン・スダとの共演
(愛知芸術文化センター)等。最新作は『in statu nascendi』(世田谷美術館/2009)。
Website: <http://tarobove.com/>

上念省三

1959年、明石市に生まれ、神戸市で育つ。1991年からフリーペーパー「視聴覚通信」を
発刊、その後「現代詩手帖」「DanceArt」「Balliet」「シアターアーツ」「宝塚アカデミア」
などに寄稿し、現代美術、演劇、宝塚歌劇、ダンスの批評活動を行う。現在「京都新聞」
「イマージュ」「dancet+」に公演評等を寄稿。また「ダンスの時間プロジェクト」の代表を
務める。Webサイト「関西ダンス&パフォーマンス・インフォメーション」を運営。
神戸学院大学、近畿大学非常勤講師。
Website: <http://homepage3.nifty.com/kansai-dnp/>

富田大介

神戸大学大学院博士課程在籍、美学/ダンス理論。2005~2006年フランス留学。
理論と実践のフィードバックを研究の軸とする。
論文「岩下徹即興舞踏試論—H・ベルクソン『物質と記憶』の読解を通して—」
(神戸大学美学芸術学論集創刊号)、雑誌記事「舞台上での今ここ性」
(スタジオボイス2009年9月号)など。
舞台では近年フランスの振付家レジヌ・ショピノの新作『ホルヌコピア(Cornucoplae)』
に出演、パリ秋の芸術祭(ボンビドゥーセンター)やモンパリエダンス(オペラコメディ)など
フランスツアーに参加し活動の幅を広げている。



神戸大学百年記念館
〒657-8501
神戸市灘区六甲台町1-1
TEL. 078-881-1212 (大代表)

(会場へのアクセス)
阪神「御影」、JR「六甲道」、阪急「六甲」駅より、
市バス36系統「文理農学部前」下車

阪急六甲駅から徒歩(10分)で来られる方は
こちらのウェブマップをご参照下さい
Website: <http://www.lit.kobe-u.ac.jp/fusion/contact.html>

(お問い合わせ)
神戸大学 大学院教育改革支援プログラム「古典サロン」
Tel: 078-803-5564 E-mail: fusion@lit.kobe-u.ac.jp
Website: <http://www.lit.kobe-u.ac.jp/fusion/index.html>

主催: 神戸大学 大学院教育改革支援プログラム
共催: 神戸大学芸術学研究会
視聴覚文化研究会